

台湾通信

ヨッツノ・・・

文 高雄事務所 坂田 / 写真 高雄事務所 大辻

日本はヨッツノ季節があり、同じ場所でも、総ての季節を楽しんでこそ、その地に行ったといえるといわれることがある。

京都でいえば、春の吉野の桜、深緑の鴨川、嵐山の紅葉、雪つもる鹿苑寺（金閣）といった感じに。

南国台湾では、さすがにヨッツノ季節を楽しむことはできませんが、別の「ヨッツノ」が存在するのです。

それは、高雄市にあります西子湾です。ここ西子湾は、旧イギリス大使館が小高い丘の上にあり、旗津の灯台が港を臨み。なんとといっても、「台湾で一番夕日がきれいなところ」として有名な観光スポットです。実はここに・・・「東」「西」「南」



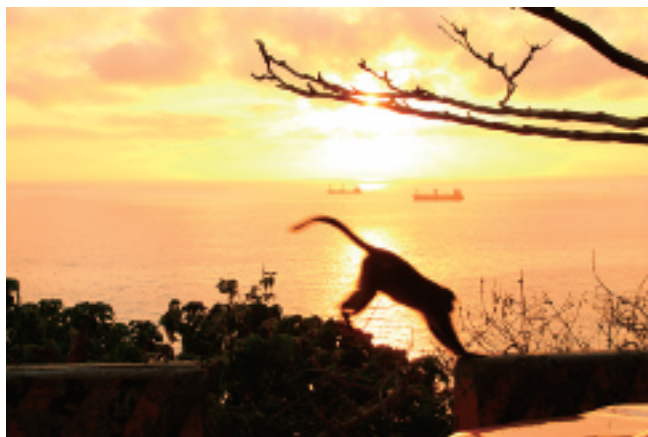
「北」、ヨッツノ・・・方角・・・(ちょっとまって、ちょっとまて、お〇いさん)。東西南北これはどこにでもありますね。そうではありません。

それはきっと、スピノザの定義か？はたまたマイクロポップか？

いえいえ、それも違います。

西子湾は、朝昼夕夜とヨッツノ潮の満ち引きがあります。ヨッツノ潮の満ち引き？？

朝方早くに行くと、朝の体操や散歩の年配の方



たちが、よせては・・・ひいて・・・。

昼間は、太陽好きな西洋人が、紫外線もなんのその、よせては・・・ひいて・・・。

夕方は、ちょうど夕日の落ちるころ。それは西子湾最大に満ち引きです。大量の観光バスに乗ってくる大陸からの観光客で、よせては・・・ひいて・・・。

日もすっかり落ちて、所狭しと停めていた観光客を乗せた大型バスがいなくなり、駐車場にぽっかりと空間ができるころには、二入乗りのバイクが次から次へと、よせては・・・よせて？

よっては寄って・・・とにかくどこでもここでも寄せては寄せているのである。

是非一度ひく姿を見てみたいものだが、一人夕日を撮りに来ていた私は、寄せてくる二人乗りバイクに逆らうように、市内へ戻っていった。

